

2015年度 学習院大学 東洋文化研究所 東洋文化講座

第87・88・89回 連続講座

激動するアジアの経済・社会

第89回

中国のシルクロード経済圏構想

2015年12月4日(金) 18:00～20:00

講師：渡辺 紫乃氏

(上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 准教授)

場所：学習院大学 北1号館3階 308

入場料無料・事前予約不要

監修：杉田善弘 (東洋文化研究所 所長)

司会：辻 大和 (東洋文化研究所 助教)

海老根 量介 (東洋文化研究所 助教)

学習院大学 東洋文化研究所

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 (学習院大学 北1号館4階)

JR 山手線 目白駅 徒歩1分

TEL.03-3986-0221 (内線 6360)

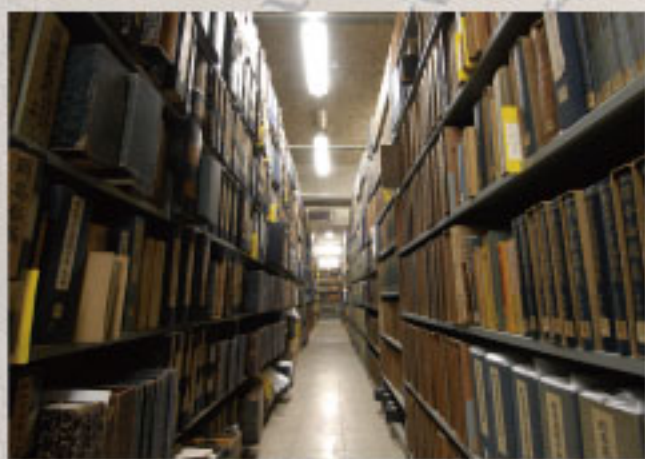
URL <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc>

今回の講座内容

中国のシルクロード経済圏構想

2013年秋に中国の習近平国家主席は、陸の「シルクロード経済圏」と「21世紀海上シルクロード」を建設する「一帯一路」構想を表明しました。

講演では、「シルクロード経済圏」構想に焦点をあて、その背景と実態、地政学的な意味と国際関係への影響についてお話しします。



講演者 紹介

渡辺 紫乃

2007年バージニア大学大学院政治学部博士課程修了 (Ph.D)。財団法人日本国際問題研究所研究員、埼玉大学教養学部准教授を経て、現在、上智大学総合グローバル学部准教授。

共著に、*The rise of Asian donors: Japan's impact on the evolution of emerging donors*, Routledge, 2013、『中国の対韓半島政策』(御茶の水書房、2013年)、『中国の対外援助』(日本経済評論社、2013年)等がある。

東洋文化講座について

学習院大学東洋文化研究所は研究成果を広く社会に還元する取り組みの一環として、学生および一般の受講者を対象とした「東洋文化講座」を1985年度から開講しており、これまでも「日本人のアジア観」や「中国・朝鮮・日本の近代化を考える」などのテーマで講演を行ってきました。今年度の「東洋文化講座」では、各分野における第一人者の講師を招き、アジア諸国における経済・社会政策の展開をテーマに講演を行います。

